

床下断熱リフォーム工法

アキレスジュウテンRによる根太床非解体断熱リフォーム

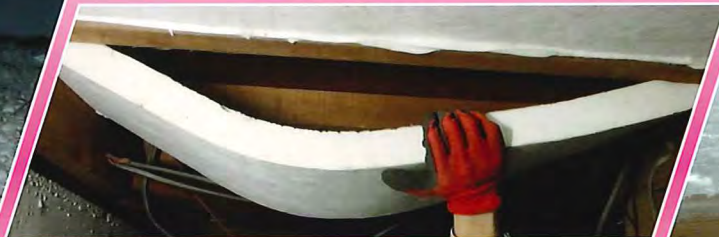
手軽に床の断熱性能をアップして快適な住環境へ改善を！



Before

こんなとき、アキレスジュウテンRで断熱リフォームをしませんか！

- 冬、1階のリビングやダイニングの床が冷たく、底冷えがして寒い。
- 1階のトイレ、洗面所、脱衣所、廊下が寒い。
- 防蟻工事等の床下工事をするついでに…。



After

アキレスジュウテンRによる簡単断熱リフォームの特長

- ① 住まいながら、床を解体しないで、簡単に短時間で施工。
- ② 床下点検口等からの進入・材料搬入による床下工事。
- ③ アキレスジュウテンRの柔軟で曲がりやすい性質を活かした優れた施工性。
- ④ フォームの柔軟性により根太に密着し隙間が生じ難い。

● 床下断熱の効果については、「健康長寿住宅エビデンス取得委員会」の報告があります。弊社カタログ「アキレスの断熱リフォーム」をご参照ください。

アキレスジュウテンRの製品規格・物性

製品規格

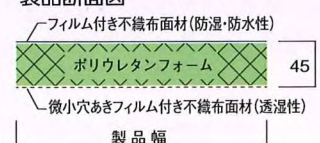
製品名	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	熱抵抗値 (m ² ・K/W)	梱包数 (枚 / 梱包)	備考
アキレスジュウテンR	45	265	910	1.12	12 [1坪分]	258～263mmの根太内寸法に対応
	45	417	910	1.12	8 [1坪分]	410～415mmの根太内寸法に対応

物性

項目	単位	物性値	試験方法
フォーム密度	kg/m ³	23.0	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m・K)	0.040	JIS A 1412-2

- 上記は、実測値であり保証値ではありません。
- 本製品は、ポリウレタンフォーム断熱材ですが、JIS 適合品ではありません。
- 本製品は、ノンフロン発泡の断熱材です。

製品断面図



■ 施工手順

1) 床下への材料搬入

床下収納庫や床下点検口、和室などからアキレスジュウテンRを床下に搬入してください。

2) 根太間への施工

アキレスジュウテンRの短辺端部を床下張り材と大引の間に差し込んだ後に、もう片方の端部も隣の大引の上に曲げながら差し込み、根太間へ押し込んでください。

- アキレスジュウテンRは標準的な根太内寸法を基に、2mm以上フォームをつぶして施工するよう設計されています。施工前の調査時に必ず根太の内寸法を計測してください。
- アキレスジュウテンRの寸法が足りない、2枚使用するなど落下の懸念がある場合は、釘等で留めるなど、落下防止に配慮した対応を採ってください。
- アキレスジュウテンRは、製品同士や根太材との間に隙間ができないように施工してください。
- 施工にあたっては、アキレスジュウテンRを合板等の床下張り材に密着するように押し込んでください。ただし、強く押し過ぎてアキレスジュウテンRがつぶれないよう注意してください。
- 根太間に施工されている既存断熱材は、撤去してください。
- 床と壁との取り合い部には気流止めも合わせて設置してください。

3) 配管、配線等の貫通部

カッターナイフ等を使用し、配管・配線を通すようにアキレスジュウテンRを加工してください。

- 隙間が生じた場合は、発泡ウレタン簡易スプレーなどを使用して隙間を埋めて断熱欠損が無いように施工してください。



【ご採用いただく上での注意事項】

- 床下断熱リフォーム工法は、床下換気口を有する既築住宅に適用いただく工法です。
- アキレスジュウテンRを床以外の部位に使用するのはおやめください。
- 床下の高さが低いなど、床下の状況や建物の構造によっては、本工法による施工ができないこともあります。事前にご確認ください。
- 建物（部屋）の構造や設備、床と壁の取り合い部等によっては、想定した効果が得られない場合があります。

【お取り扱いいただく上での注意事項】



- アキレスジュウテンRを運搬、保管、施工する際には、火気の取り扱いに十分ご注意ください。



- 本カタログでは、既存床を残した状態でアキレスジュウテンRを施工する工法をご紹介しておりますが、既存床を解体しての施工でご使用される場合には、アキレスジュウテンRの上に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。落下しけがをしたり、材料を損傷する可能性があります。
- アキレスジュウテンRの柔軟性は、スポンジのような反発力・復元力を持つものではありません。また、フォームが座屈するような局所的な変形では、復元しませんのでご注意ください。
- アキレスジュウテンRは、原則として直射日光や雨に当たらないように屋内の水平な場所にりん木、敷板などを敷いた上に保管してください。なお、施工後何らかの事情で雨水等で濡れることが予想される場合は、アキレスジュウテンRが濡れないよう養生をしてください。
- アキレスジュウテンRは、一部の溶剤や石油類によって膨潤等を起こす場合があります。接着剤や塗料、防錆剤・防腐剤を使用される場合は、接着剤や薬剤のメーカーにご確認いただくなど注意してご使用ください。



ISO9001 ISO14001
JUSE-RA-2009 JUSE-EG-661
断熱資材事業部 定期第二工場 選別第二工場
美瑛工場九州工場

アキレス株式会社

<http://www.achilles-dannetu.com> <https://www.achilles.jp>

断熱資材事業部 断熱資材販売部

本社 〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー
TEL 03-5338-9544

関西支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
TEL 06-4707-2348

九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅前1-12-6 花村ビル
TEL 092-477-8475

東北 北 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-6-9 マニュアルフリース仙台7F
東北アキレス(株) TEL 022-214-8611

北関東 東 〒327-0001 栃木県佐野市小中町48
関東アキレスエアロン(株) TEL 0283-24-2531

南関東 東 〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカースト17F
アキレスコアテック(株) TEL 03-5819-8131

関西 西 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
大阪アキレスエアロン(株) TEL 06-4707-2381

■このカタログの内容は2017年10月現在のものです。■掲載されている仕様は予告なく変更することがあります。

1710.3(1).HN ■